

地域のハッピーセンター ハルサ中浦和

【キーワード】

〔施設種別〕 高齢者施設 障がい者施設 子ども施設 住宅 ()
〔運営主体〕 市区町村 法人 NPO 個人 (補助金) 内閣府 国土交通省 厚生労働省 ()
〔建物形式〕 1 棟単体型 複数棟集合型 団地型 (建物状況) 新築 増築 改修 一部改修 既存
〔対象者〕 高齢者 障がい者 子ども ファミリー 多世代



写真1. 室内の写真

運営代表は、集う人達が幸せになる場所をハッピーセンターと呼んでいる。「地域のハッピーセンター ハルサ中浦和」もそのひとつであり、「自分を知り、活かすこと」、「人と人がつながること」をサポートしている。自宅の2階の1部屋を開放しており、マッサージの提供や勉強会・講座の開催などを通して、コミュニティを醸成している。

■施設概要

所在地 : 埼玉県さいたま市南区別所4丁目
施設種別: 戸建て住宅
運営主体: 個人
開設年 : 2017年5月
床面積 : 約10畳(約19㎡)

■事業の経緯

運営代表の母が高齢期の不安によって追い詰められ、自ら命を絶った。身近な人の悩みに気づけなかった後悔から、ハッピーセンターの取り組みを始め、地域の人が悩みを相談できる場をつくった。

サロンの場所はもともと自分の親が住んでいる実家である。運営代表が実家を引き継ぎながら、自分が生まれた地元に貢献したいという思いから現在の場所を使っている。1階には父親が住んでいるため、2階の1室を開放して開催している。

■立地について

最寄駅から徒歩7分の場所にあり、加えて駐車場もあることから、交通の便が良い立地になっている。また、公園に隣接しているため、ハッピーセンターからは自然の風景を眺めることができる。アプローチは公園側と道路側の2面から入ることができる。



図1. 周辺地図

駅から徒歩7分の場所にある。

隣には大きな沼のある公園になっており、たくさんの人が行き交う。



写真2. 隣接している公園(秋)

公園には沼、並木などさまざまな自然がある。

秋には並木が紅葉するため、季節を感じることができる。

■運営について

サロンでは完全予約制で1日1名限定のスウェディッシュマッサージを提供している。また、魔法の質問の勉強会や知識のおすそわけ講座などのイベントを開催している。そのほかにも様々なワークショップを開催している。スタッフは基本一人に対応し、講座やワークショップを開催する場合は講師を招くこともある。

■利用者について

最初は知り合いや友人で集まるところから始まった。次第にブログや参加者の口コミなどで活動が広まり、近くの人でも利用するようになった。講座やワークショップの利用者は最大6人が上限のため、落ち着いた雰囲気に参加できる。

地域の人が、ある時はワークショップの講師、ある時はお客さんとして参加することで、利用者が講師とお客さんをサイクルする形をつくっている。

■しつらえについて

住宅の2階2部屋、玄関、階段をリフォームし、地域に解放するハッピーセンターをつくった。内装は家具をできるだけ少なくし、シンプルにすることで、様々なイベントに臨機応変に対応できるようにしている。

外装は、新しく公園側に入出口をつくり、柵をつくった。公園側に面している外壁も塗り替えた。今後は入口にガーデニングをすることで、魅せる庭に変えていき、外にはテーブルと椅子を設置することで外でも気軽に話せる場をつくっていく予定だ。

■さいごに

運営代表は、もともと会社と仕事の行き来だけで、その世界しか知らなかったが、活動を通して地域に友達できて世界が広がり、自分の役割も見えたことが、運営をしていて良かったことだと語った。

「地域のハッピーセンター ハルサ中浦和」はだれもが安心・安全に何でも本音で話すことができ、前向きな気持ちになれる、その人の幸せが得られる場所になっている。



写真3. ハッピーセンターからの風景
ハッピーセンターの窓からは公園の風景を眺めることができる。



写真4. 公園側の入り口
もともと公園側には入り口が無く、ハッピーセンターを開設するにあたって新しくつくった。

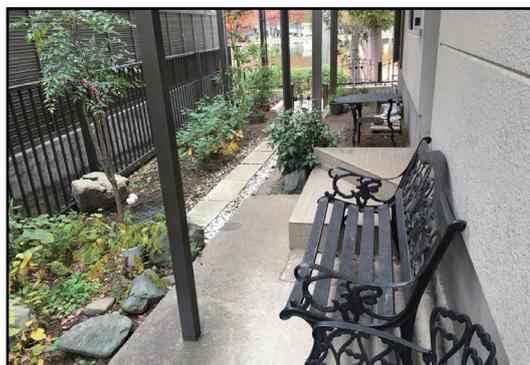


写真5. 入口の風景
今後は入口にガーデニングをして座れる場所をつくることで、外でも会話できるようにする予定。